

2025年度 保健学科履修要覧

1. 大阪大学の教育目標

大阪大学は、「知の創造、継承及び実践」を使命とし、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学問の独立性と市民性を備えた世界水準の高度な教育研究を推進し、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目的とします。

その目的の実現のため、学部及び全学的な教育研究組織において、

- 高度な専門性と深い学識
- 教養
- 国際性
- デザイン力

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材を育成します。

大阪大学の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

URL <https://www.osaka->

[u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/undergraduate_policy.html](https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/undergraduate_policy.html)

2. 医学部保健学科の教育目標

大阪大学の教育目標のもと、医学部保健学科では、保健学の発展に寄与して健康の視点から人々の幸せに貢献する、専門資格を持つ医療人を育成します。これら医療人は、高度な専門性を持ち、医療に関する深い学識と先進医療のあらゆる分野に対応できる力を身につけ、高い倫理観と豊かな人間性を備え、医療の国際展開を推進し、教育・研究・実践の場でリーダーシップを発揮して、保健学と医療分野の様々なニーズに対応できる能力を備えた人材育成を目指しています。

医学部保健学科の教育目標および各ポリシーURL <https://www.osaka->

[u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/s-allied_policy.html](https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/s-allied_policy.html)

3. 卒業要件

(令和7年度入学者用)

規程上の 区分	履修上の 区分	科目区分	修得単位数			3年次 進級要件 対象科目	
			看護	放射	検査		
教養教育系科目	全学 共通 教育	学問への扉	2	2	2	○	
		基盤教養科目	人文社会系	6 _{※1,2}	6 _{※1}	6 _{※1}	○
			社会科学系				
			自然科学系				
			総合型				
		アドヴァンスト・セミナー					
		高度教養教育科目 (3年春学期) _{※3}	2	2	2		
		情報教育科目	2	2	2	○	
		健康・スポーツ教育科目	2	2	2	○	
		小計	14	14	14		
		教育系科目 国際性涵養	第一外国語科目	8	8	8	○
第二外国語科目	3		3	3	○		
グローバル理解科目	4		4	4	○		
小計	15		15	15			
科目 専門教育系	専門基礎教育科目	13	16	18	○		
	専門教育	専門教育科目	90	87	101 _{※4}		
合計			132	132	148		

※1 基盤教養科目およびアドヴァンスト・セミナーから6単位以上修得してください。ただし、そのうち基盤教養科目から4単位以上を修得する必要があります。

※2 看護学専攻は基盤教養科目「心理・行動科学入門」および「心理学基礎実験」が必修科目です。

※3 高度教養教育科目は3年次春・夏学期開講の「現代の生命倫理・法・経済を考える」が必修科目です。

※4 検査技術科学専攻は選択科目から2単位以上修得する必要があります。

○取得学位

専攻	看護学	放射線技術科学	検査技術科学
学位	学士(看護学)	学士(保健衛生学)	

4. 進級要件

3年次進級要件と4年次進級要件を内規で定めています。

「3. 卒業要件」、「6. 専門教育科目課程表」、「7. 医学部規程」とあわせて確認してください。

保健学科学部学生進級要件に関する内規

(趣旨)

第1条 この内規は、保健学科学部学生の進級要件に関し、必要な事項を定めるものとする。

(3年次進級要件)

第2条 各専攻の学生は、2年次夏学期終了時までに医学部規程別表3、別表4における専門基礎教育科目に規定する単位数から次に示す単位数を修得しなければ、入学年度の保健学科履修要覧に示す専門教育科目課程表における2年次秋学期以降配当の専門教育科目を履修することができず、3年次に進級することができない。

【看護学専攻】

修得すべき単位数(40単位)のうち、35単位以上修得すること。

【放射線技術科学専攻】

修得すべき単位数(43単位)のうち、38単位以上修得すること。

【検査技術科学専攻】

修得すべき単位数(45単位)のうち、40単位以上修得すること。

(4年次進級要件)

第3条 看護学専攻の学生は、3年次夏学期終了時までに入学年度の保健学科履修要覧に示す専門教育科目課程表における4年次進級要件単位数から次の単位数を修得しなければ、3年次秋学期以降の臨地実習を履修できず、4年次に進級することができない。

・看護学概論、基礎看護技術、基礎看護技術演習Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅲ及び基礎看護学実習の単位をすべて修得し、かつ、修得すべき単位数(67単位)のうち、62単位以上修得すること。

2 放射線技術科学専攻の学生は、3年次夏学期終了時までに「臨地実習」の単位を修得し、かつ、入学年度の保健学科履修要覧に示す専門教育科目課程表における4年次進級要件単位数から次の単位数を修得しなければ、「臨地実習Ⅰ」、「臨地実習Ⅱ」を履修できず、4年次に進級することができない。

・修得すべき単位数(60単位)のうち、55単位以上修得すること。

3 検査技術科学専攻の学生は、3年次冬学期終了時までに入学年度の保健学科履修要覧に示す専門教育科目課程表における4年次進級要件単位数から次に示す単位数を修得しなければ、臨地実習を履修できず、4年次に進級することができない。

・修得すべき講義科目の単位数(55単位)のうち、51単位以上修得すること。

・修得すべき実習科目の単位数(16単位)のうち、16単位すべてを修得すること。

附 則

- 1 この内規は、令和2年2月13日から施行し、平成31年4月1日入学者から適用する。
- 2 平成31年4月1日現在放射線技術科学専攻に在学中の者については、第2条で示す3年次進級要件単位数は、修得すべき単位数(43単位)のうち、33単位以上修得するものとする

附 則

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日現在在学中の者及び令和4年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、再入学又は転部する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この改正は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日現在在学中の者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この改正は、令和7年4月1日から施行し、令和4年4月1日入学者から適用する。

5. 履修方法

授業科目は、「教養教育系科目」「専門教育系科目」「国際性涵養教育系科目」の3つの柱からなり、履修上は全学共通教育と専門教育とに区分されます。

1. 全学共通教育

大阪大学医学部保健学科に入学すると1年次春学期～2年次夏学期(1年半)の間は、豊中キャンパスを中心として他学部学生とともに主に全学共通教育科目を履修します。これによって総合大学ならではの豊かな人間関係が生まれ、このことは研究や職業選択、社会人としての活動を行う上で、たいへん意義のあることです。

2年次夏学期までに単位修得が必要となる科目は、「3. 卒業要件」の表のうち、履修上の区分で全学共通教育として区分される科目です。ただし、高度教養教育科目は3年次春・夏学期に修得します。全学共通教育科目の履修については、別に配付される「全学共通教育科目 履修の手引」を確認してください。

専門基礎教育科目は全学の教員の協力を得て、原則として2年次夏学期までに学部の専門教育の幅広い基礎となる学問を学びます。これらの科目は次の視点から選ばれています。

- 1) 専門分野の基礎的な概念の理解
- 2) 専門分野における基礎的な方法の修得
- 3) 専門から発展する周辺分野を理解する能力の養成

専門基礎教育科目については、医学部規程で専攻ごとに必修科目を定めていますので「7. 医学部規程 別表4」の指定どおりに履修してください。

2. 専門教育

本学科の専門領域を修得する教育科目です。各学年における開講科目、単位、配当学期、時間については、入学年度と専攻に合致した「6. 専門教育科目課程表」を確認してください。

(1) 履修登録

次の事項に留意の上、その学期に履修する専門教育科目を、所定の期日までに学務情報システム(以下、KOAN)より登録しなければならない。

- 重複登録(二重聴講)はできない
- 登録をしていない科目は、授業や試験を受けることはできない
- 履修科目の追加・変更は原則、認めない
- 登録期限は厳守する

(2) 試験

専門教育科目の試験は「保健学科試験内規」により実施する。

(3) 成績

成績発表開始日以降に各自KOANで確認する。結果に異議がある場合は、成績発表日以降3日以内に限り申し立てができる。

(4) GPA制度

大阪大学はグレード・ポイント・アベレージ(GPA)制度を導入している。

GPA制度概要

URL https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/academic_reform/gpa

(5) 履修の取消し

履修を取りやめたい場合は、学期ごとに定められた履修取消期間内であれば登録を取り消すことができる(履修を取り消した科目は、GPAの算出から除外される)。

(6) 成績不振者の取扱い

以下の基準に該当する学生は成績不振者として指導を受ける。

1年次:1年次夏学期終了時点で全く単位を修得していない者

1年次終了時点での修得単位数が、看護学専攻・放射線技術科学専攻の学生については20単位未満の者、検査技術科学専攻の学生については25単位未満の者

2年次:2年次夏学期終了時点での修得単位数が、3年次進級要件を満たしていない者

3年次:看護学専攻・放射線技術科学専攻の学生については3年次夏学期終了時点、検査技術科学専攻の学生については3年次終了時点での修得単位数が、4年次進級要件を満たしていない者

4年次:卒業判定の結果が不可となった者

(7) 気象警報の発表時等における授業の取扱い

本学の取り扱いに準じる。

医学部保健学科試験内規

第一条 この内規は、医学部規程に基づき、保健学科専門教育科目の試験及び試験評価等について定めることを目的とする。

第二条 定期試験は、期末または学期末に実施する。

2 履修登録した科目であっても、平素の出席状況がよくない場合は、受験を許可しないことがある。

第三条 追試験は、医師による登校制限のある疾病・負傷、忌引により、定期試験を受験できなかった学生に対して実施される場合がある。

2 追試験の受験を希望する学生は、定期試験実施後1週間以内に証拠書類を添えて追試験願を担当教員に提出し、許可を得なければならない。

第四条 再試験は、追試験の受験を許可されなかった学生及び定期試験・追試験の結果、不合格となった学生(再履修と判定された学生を除く。)に対して実施される場合がある。

2 再試験で合格となった場合の評価は原則60点とする。

第五条 試験の結果、科目担当教員が次年度以降に再度履修しなければ単位を修得できないと判断した学生に対しては、再履修と判定することがある。

第六条 試験中は試験監督者の指示に従うこと。

2 試験監督者の指示に従わない場合は、不正行為をしたものとみなすことがある。

第七条 試験時間表等は、掲示により通知する。

2 試験開始後、30分までは退室を許可しない。

3 試験開始後、30分以降は入室を許可しない。

第八条 不正行為が発生した場合は、次のとおり処理する。

2 試験監督者は、証拠物件がある場合は、それを押収の上、不正行為確認書を書かせる。

なお、証拠物件がない場合は、試験監督者は、不正行為が行われた状況報告書を作成する。

3 教務委員会は、試験監督者及び当該試験科目単位認定者の報告に基づき、当該学生の不正行為の有無を決定し、学科長に報告する。

4 受験中の不正行為が発生した場合は、学科長は、その期の専門教育科目の成績評価(但し実習を除く)をすべて無効にする。

第九条 この内規に疑義が生じた場合は、保健学科会議が決定する。

6. 専門教育科目課程表

(令和7年度入学者用)看護学専攻

区分	科目	単位		配当学期・時間数								進級要件 対象科目 4年次	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年				
				春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬			
専 門	医療科学概論	2		30									2	
	解剖学	2		30									2	
	生理学	2		30									2	
	生化学	1			15								1	
	臨床栄養学	1			15								1	
	微生物学	1			15								1	
	看護学概論	2			30								2	
	ライフサイエンス・医療の倫理	2				30							2	
	防災・災害医療と情報管理	1				15							1	
	小児保健医療学	1				15							1	
	基礎看護技術演習Ⅰ	1				30							1	
	基礎看護技術演習Ⅱ	1				30							1	夏学期
	基礎看護技術	2					30						2	春～秋学期
	教 育	基礎看護学実習	3				135						3	臨地実習・春～秋学期
基礎看護技術演習Ⅲ		1					30					1	秋学期	
病理学		1					15					1		
保健統計学		1					15					1		
疫学		1					15					1		
学校保健学			2				30							※
地域・在宅看護援助論Ⅰ		1					15					1		
小児看護対象論Ⅰ		2					30					2		
小児看護対象論Ⅱ		1					15					1		
母性看護対象論		2					30					2		
母性保健医療学		1					15					1		
成人・老年看護対象論Ⅰ		1					15					1		
成人・老年看護対象論Ⅱ		1					15					1		
科 目		成人・老年保健医療学Ⅰ	1				15						1	
	成人・老年保健医療学Ⅱ	2				30						2		
	成人・老年看護対象論Ⅲ	1					15					1		
	精神看護対象論	1					15					1		
	家族看護論	2					30					2		
	小児看護援助論	2						30				2		
	母性看護援助論	2						30				2		
	保健福祉・看護行政論	1						15				1		
	社会福祉・社会保障論	1						15				1		
	薬理作用と臨床適用	2						30				2		
	養護概説		2					30					※	
	地域・在宅保健対象論	2						30				2		
	精神保健医療学	2						30				2		
	精神看護援助論	2						30				2		
成人・老年看護援助論Ⅰ	2						30				2			
成人・老年看護援助論Ⅱ	2						30				2			
成人・老年看護援助論Ⅲ	2						30				2			
地域・在宅保健医療学	2						30				2			
看護研究方法論	2						30				2			
地域・在宅看護援助論Ⅱ	1						15				1			

区分	科目	単位		配当学期・時間数								進級要件 4年次 対象科目	備考
		必修	選択	1年		2年		3年		4年			
				春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬		
専 門 教 育 科 目	小児看護学実習	2							90				臨地実習
	精神看護学実習	2							90				臨地実習
	統合看護実習Ⅰ	1							45				臨地実習
	成人・老年看護学実習Ⅰ	2							90				臨地実習
	成人・老年看護学実習Ⅱ	3							135				臨地実習
	地域・在宅看護学実習	2							90				臨地実習
	母性看護学実習	2							90				臨地実習
	統合看護実習Ⅱ	1								45			臨地実習
	実践看護実習	4								180			臨地実習
	予防看護学実習	1								45			臨地実習
	看護の統合と実践Ⅰ	1								15			秋～春学期
	看護の統合と実践Ⅱ		1								15		
特別研究	2									90			
合計	90	5										67	

備考欄 ※は養護教諭一種免許状取得に必要な科目。附1.教育職員免許状取得を参照。

(令和7年度入学者用)放射線技術科学専攻

区分	科目	単位		配当学期・時間数								進級要件 4年次 対象科目	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年				
				春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬			
専 門 教 育 科 目	医療科学概論	2		30									2	
	放射線科学序論	2		30									2	
	放射線物理学	2			30								2	
	放射線生物学	2				30							2	
	医用工学 I	2				30							2	
	医療社会学	1				15							1	春学期
	画像工学	2				30							2	
	基礎医学 I	1				15							1	春学期
	防災・災害医療と情報管理	1				15							1	
	画像医学 I	2				30							2	
	放射薬品化学	2				30							2	
	基礎医学 II	2					30						2	
	生体機能分析学	2					30						2	
	医用工学実験	1					45						1	冬学期
	実践放射線診断学	2					30						2	
	画像解剖学	2					30						2	
	画像解剖学実習	1					45						1	
	画像工学実験	1					45						1	秋学期
	放射線計測学	2					30						2	
	医用工学 II	2					30						2	
	生命科学実習	1					45						1	秋学期
	看護学概説	1					15						1	秋学期
	放射線治療物理学	2					30						2	
	関係法規	2							30				2	
	放射線安全管理学	2							30				2	
	放射線管理学実習	1							45				1	春学期
	画像情報学	2							30				2	
	画像情報学実習	1							45				1	
	画像医学 II	2							30				2	
	核医学	2							30				2	
	医用機器工学 I	2							30				2	
	医用機器工学 II	2							30				2	
	医用光学		1						15					夏学期
核磁気共鳴学	2							30				2		
放射線腫瘍学 I	2							30				2		
臨地実習	2							90				2		
画像医学 III	2								30					
放射線腫瘍学 II	2								30					
診療画像技術学実習	1								45					
医用機器工学実験 I	1								45				冬学期	
医用機器工学実験 II	1								45				冬学期	
臨地実習 I	5								225				臨地実習	
臨地実習 II	5								225				臨地実習	
医療安全管理学	2									30				
特別研究	8										360			
合計	87	1										60		

(令和7年度入学者用)検査技術科学専攻

区分	科目	単位		配当学期・時間数								4年次進級要件対象科目		備考
		必修	選択※	1年		2年		3年		4年		講義	実習	
				春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬	春・夏	秋・冬			
専 門 教 育 科 目	医療科学概論	2		30								2		
	放射線検査概論		1	15										春学期
	検査技術科学序説	2			30							2		
	実践情報活用論	2			30							2		
	生体機能学	2				30						2		
	公衆衛生学概論	1				15						1		春学期
	臨床医学概論	2				30						2		
	防災・災害医療と情報管理	1				15						1		夏学期
	生体形態学	2					30					2		
	生体形態学実習	2					90						2	水・木
	生体分析学	2					30					2		
	微生物学	1					15					1		秋学期
	医用工学	2					30					2		
	検査情報解析学	1					15					1		
	検査情報解析学実習	1					45						1	
	臨床化学 I	2					30					2		
	臨床検査総論	2					30					2		
	臨床検査総論実習	1						45					1	秋学期は2限まで。冬学期は3限まで
	臨床薬理学	2					30					2		
	病理組織細胞学 I	2					30					2		
	病理組織細胞学実習	1						60					1	
	放射性同位元素技術学	1							15			1		春学期
	臨床免疫学I	1							15			1		春学期
	臨床免疫学II	1							15			1		夏学期
	臨床化学 II	2							30			2		
	臨床化学実習	2							90				2	
	臨床生理学 I	4							60			4		
臨床生理学 II	2							30			2			
病理組織細胞学 II	2							30			2			
臨床血液学	2							30			2			
臨床微生物学	2							30			2			
医動物学	1							15			1		春学期	
医薬品開発総論		1						15					春学期	
スポーツ検査科学		1						15					春学期	
基礎動物実験学		1						15					夏学期	
移植免疫学	1							15			1		夏学期	
検査システム管理学	2								30		2			
医用工学実習	1									45		1	1限途中から	
臨床免疫学実習	1										48	1	4~6限	
生命工学	2								30		2			
生命工学実習	2									90		2		
臨床生理学実習	3								135			3	6限の半分まで	
臨床血液学実習	1								45			1	4限途中まで	
微生物医動物学実習	1								45			1	4限途中まで	
実践血液学	1								15		1			
実践輸血免疫学	1								15		1		秋学期	
臨床医学最前線	2								30		2			
特別研究	10									450				
臨床病理学	2									30				
臨床医学特別実習	2									90				
社会医学	1										15		3限途中まで	
社会医学実習	1										45		3限途中から	
臨地実習	12										600		臨地実習**	
看護学概説		1									15		秋学期	
合計	99	5										55	16	

備考欄 ※選択科目から2単位以上修得すること。**一部は春・夏学期に実施。

7. 医学部規程-別表

別表3

教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目の履修方法

教養教育系科目及び国際性涵養教育系科目について、次に示すとおり授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

区分		履修方法		
教養教育系科目	全学共通教育科目	学問への扉	学問への扉の授業科目のうちから2単位を修得すること。	
		基盤教養教育科目	看護学専攻の学生は、基盤教養教育科目の「心理・行動科学入門」（2単位）及び「心理学基礎実験」（2単位）を履修し、「基盤教養教育科目（人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目及び総合型科目）」及び「アドヴァンスト・セミナー」のうち本学部が指定する授業科目から2単位を選択履修し、計6単位を修得すること。 放射線科学技術専攻及び検査技術科学専攻の学生は、「基盤教養教育科目（人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目及び総合型科目）」及び「アドヴァンスト・セミナー」のうち本学部が指定する授業科目から計6単位を修得すること。ただし、6単位のうち、4単位以上を基盤教養教育科目から修得すること。	
		アドヴァンスト・セミナー		
		情報教育科目	看護学専攻の学生は「情報社会基礎」（2単位）、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻の学生は「情報科学基礎」（2単位）を選択履修し、修得すること。	
		健康・スポーツ教育科目	「スマート・スポーツリテラシー」（2単位）及び「スマート・ヘルスリテラシー」（2単位）のうちから1科目を選択履修し、2単位を修得すること。	
		高度教養教育科目	全学教育推進機構が開講する高度教養教育科目「現代の生命倫理・法・経済を考える」（2単位）を3年次に選択履修し、修得すること。	
国際性涵養教育系科目	全学共通教育科目	マルチリンガル教育科目	第1外国語	第1外国語の総合英語から6単位、実践英語から2単位をそれぞれ履修し、計8単位を修得すること。ただし、英語を母国語とする外国人留学生については、別に定める。
		第2外国語	ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうちから1外国語を選択履修し、3単位を修得すること。ただし、外国人留学生については、1外国語として日本語を選択履修することができる。	
		グローバル理解	グローバル理解の授業科目（「国際コミュニケーション演習」及び「地域言語文化演習」に限る。）のうち、科目名の括弧内に示した言語が、第2外国語として履修する言語と一致する科目の中から4単位を修得すること。ただし、第2外国語として日本語を選択履修した外国人留学生については、「多文化コミュニケーション（日本語）」の科目のうちから4単位を修得すること。	

別表4

専門教育系科目の履修方法

専門教育系科目について、次に示すとおり授業科目を履修し、専攻ごとに定められた単位を修得しなければならない。

1 専門基礎教育科目

科目区分	授業科目	単位数	専攻		
			看護学	放射線技術科学	検査技術科学
統計学	統計学B-I	2	◎	◎	◎
	統計学B-II	2	○		
数学	解析学入門	2	◎		
	線形代数学入門	2	○		
	解析学概論	2		◎	◎
	線形代数学概論	2		◎	◎
物理学	力学通論	2	○	※	※
	電磁気学通論	2	○	※	※
	力学入門	2	○	※	※
	電磁気学入門	2	○	※	※
	基礎物理学実験	1		◎	※
化学	化学基礎論A	2		◎	◎
	化学基礎論B	2	◎		
	基礎生化学	2			○
	基礎有機化学	2			○
	基礎化学実験	1	※	◎	◎
生物学	生物学序論	2	◎	◎	◎
	基礎生物学実験	1	※		※
必要単位計			13	16	18

◎ ……「必修科目」

※ ……「選択必修科目」

○ ……「選択科目」

履修上の注意

看護学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 「基礎化学実験」又は「基礎生物学実験」のいずれかを選択し、履修すること。
放射線技術科学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 次の履修方法のうち、いずれかを選択し履修すること(注)。 (1)「力学入門」及び「電磁気学入門」を履修すること。 (2)「力学通論」及び「電磁気学通論」を履修すること。
検査技術科学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 次の履修方法のうち、いずれかを選択し履修すること(注)。 (1)「力学入門」及び「電磁気学入門」を履修すること。 (2)「力学通論」及び「電磁気学通論」を履修すること。 「基礎物理学実験」又は「基礎生物学実験」のいずれかを選択し、履修すること。

(注)大阪大学入学者選抜試験において「物理」を選択した者は(2)の組み合わせで履修すること。「物理」を選択しなかった者は(1)の組み合わせで履修すること。

2 専門科目

-略-

「6. 専門教育科目課程表」のとおりです。

大阪大学医学部規程

URL https://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/kitei/reiki_honbun/u035RG00000183.html

附1. 教育職員免許状取得

看護学専攻の学生は、学部の課程において必要な単位を修得すれば、養護教諭一種免許状の取得ができます。免許状の取得を希望する人は、4月初旬に開催される教職課程ガイダンスに必ず参加してください。教職課程関係に係るスケジュールは、KOANの掲示板(教職)で通知しますので確認してください。

教職課程

URL <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/career/teacher/teacher-certification-course>

附2. 国家試験受験資格

本学科の所定の課程を履修し、卒業した者及び卒業見込者に対し、厚生労働省が実施する次の国家試験受験資格が与えられます。

専攻	資格	関係法規
看護学	看護師	保健師助産師看護師法
放射線技術科学	診療放射線技師	診療放射線技師法
検査技術科学	臨床検査技師	臨床検査技師等に関する法律

厚生労働省資格・試験情報

URL <https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku shiken/>